

平成29年度第5回定例社会教育委員会議事録（議事要旨）

- 1 開催日時 平成30年2月15日（木）午後2時～4時
- 2 開催場所 中央図書館2階 視聴覚室
- 3 出席者
（委員）
藤田委員長、松木副委員長、渕野委員、大塚委員、茂泉委員、上谷委員
（事務局）
生涯学習部長、生涯学習部次長、郷土博物館長、中央図書館長、青少年センター所長、生涯学習課長、高洲公民館長、運動公園スポーツ施設整備課長、市民スポーツ課長、青少年課長、生涯学習係
- 4 傍聴人 0人
- 5 議題
 - (1) 報告事項
 - 1) 事業報告について
 - ①平成29年度うらやすこども大学開催結果について
 - ②平成29年度浦安市成人式開催結果について
 - ③第27回東京ベイ浦安シティマラソンの開催結果について
 - ④第9回浦安市民ミュージカルの開催案内について
 - ⑤平成30年浦安イースタン・リーグ公式戦実施概要について
 - 2) 生涯学習部各審議会の開催結果について
 - ①平成29年度第5回公民館運営審議会会議録
 - ②平成29年度第3回浦安市図書館協議会議事録
 - ③平成29年度第3回浦安市文化財審議会議事録
 - 3) 第2次浦安市生涯学習推進計画の策定について
 - ①生涯学習に関する市民意識調査の実施結果について
 - (2) 協議事項
 - 1) 研究テーマについて
 - (3) その他
 - 1) 次回の会議日程について
次回の会議日程は、平成30年3月20日（火）午後2時から、市役所10階協働会議室で開催予定

6 議事概要及び会議経過

(1) 報告事項

1) 事業報告について

②平成29年度浦安市成人式開催結果について

委員からの主な意見・質問等は以下の通り。

(委員) 今年度は参加率が高く、また市外参加者も一定数いる状況で、一部の参加者が座れなかったとのことだが、来年度以降の対応はどのように考えているのか。

(事務局) 先日、(株)オリエンタルランドと打合せを行い、座席数は増やしても20席程度であることから、場合によっては立ち見をお願いすることになってしまうとのこと。ショーベース自体の定員は座席数より1割程度多いので、一定数は立ち見となっても定員には達しないとのことであったが、定員を超えてしまう場合は、関係者に会場の外に出てもらう等の対応を検討している。市外参加者の対応については、課題として認識しており、今後検討していく。

③第27回東京ベイ浦安シティマラソンの開催結果について

委員からの主な意見・質問等は以下の通り。

(委員) 10kmとハーフは制限時間を設けているが、制限時間に間に合わなかったランナーはどのように対応しているのか。

(事務局) 制限時間に間に合わなかったランナーは収容車に乗るようご案内しており、今回は15名程のランナーが乗ることとなった。

(委員) 松戸市などは、事前に参加記念のTシャツが郵送されるが、浦安は走った後に渡されるので、Tシャツを着て走ることができない。事前の郵送は検討しているのか。

(事務局) 今後、実行委員会があるので来年に向けて検討していく。

(委員) 参加者が大変多いが、申し込みの際に市民の優先枠はあるのか。

(事務局) 市民枠として一般より早く申し込みができるようにしている。大体、半数くらいが市民枠で埋まるという状況である。

(委員) 今年度は約130名がボランティアとして参加したとのことだが、どの程度のボランティアが必要かの見込みはあるのか。ボランティアが少し多く集まった場合は、交通状況を考慮して厚く配置するということが考えられる。また、このようなボランティアを子どもたちをお願いすることで、走るきっかけとなれば良いと思う。

(事務局) 今年は昨年と同じコースであったので、昨年の実績に基づきボランティアを配置した。ボランティアについては、その年ごとの実行委員会にて検討している。

⑤平成30年浦安イースタン・リーグ公式戦実施概要について

委員からの主な意見・質問等は以下の通り。

(委員) 試合実施日は、駐車場が満車になることはあるのか。

(事務局) 今年度、3試合開催したが野球の試合のみで満車になったことはない。ただし、他の競技と開催日が重なった場合は満車になる可能性はある。

2) 生涯学習部各審議会の開催結果について

①平成29年度第5回公民館運営審議会会議録

委員からの主な意見・質問等は以下の通り。

(委員) コミュニティ・カレッジの内容と、来年度の方向性について教えてほしい。

(事務局) 7つの公民館の協働事業でシニアを対象とした1年間の学習プログラムとして実施している。仲間づくりや健康、新しい情報・知識の習得を目的としており、今年度は受講生で自主企画をするという取り組みを行った。この点、交流が深まったという感想があり好評であったため、来年度も自主企画を取り入れていきたい。

(委員) 市民大学との連携や協力はないのか。

(事務局) 今のところ、コミュニティ・カレッジとの連携はないが、公民館によっては、市民大学で学んだ方に講座を手伝ってもらうという取り組みはある。

(委員) 来年度からの公民館の運営方針の協議の中で、「市民や団体等との協働による学習機会の提供」を重点課題の項目から外すとある。これは、これまでの活動の成果だとは思いますが、その背景について教えてほしい。

(事務局) 公民館の運営方針は、3年ごとに見直しを行っている。ご指摘の項目については、前回の運営方針から入っており、6年間に渡って取り組み、現在はほとんどの事業で地域や団体の方に入ってもらっている状況で、定着してきたことから今回は重点課題から外すということになった。しかしこの点は、恒常的な視点として今後も取り入れていく。

(委員) 「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰の受賞があったとのことだが、この点について詳しく教えてほしい。

(事務局) 堀江公民館の「きぼう青年学級」の取り組みが受賞した。これは、今年度から文部科学省が「障害者への生涯学習支援」の一環として新設した表彰であり、今回、堀江公民館の取り組みが評価され受賞に至った。「きぼう青年学級」は障がい者への余暇支援として年間をとおして月1回行っており、実施にあたっては職員だけでなく市民のボランティアにも協力してもらっている。

(委員) 先日行われた公民館利用者研修会に出席したが、参加者が多く、

質問時間には活発に議論がされていた。サークル同士の連携が大切だと思うが、公民館で何かサークル同士を繋げる取り組みを行っているのか。

(事務局) 主なものとして、公民館文化祭は実行委員会を組織して、サークル同士の話し合いで企画をしているが、サークルの横のつながりを広げていくことは今後の課題として捉えている。

②平成29年度第3回浦安市図書館協議会議事録

委員からの主な意見・質問等は以下の通り。

(委員) 資料費とは、どのような費用なのか。

(事務局) 資料費は、図書購入費、雑誌や新聞など逐次刊行物の購入費、音楽CDなど視聴覚資料の購入費の3つを含めた費用である。

(委員) 大規模改修時、敷地内に専用駐車場を整備するとの記載があるが、どのような計画になっているのか。

(事務局) 図書館利用者用の駐車場を現在の図書館裏にある公用車用の駐車スペースに70台程が駐車できるよう整備する予定である。

③平成29年度第3回浦安市文化財審議会議事録

委員からの主な意見・質問等は以下の通り。

(委員) Wave101でドキュメンタリー映画の上映を行ったとあるが、どのような内容なのか。

(事務局) この映画は、団体が制作したもので博物館が制作したものではなく、この映画が盛況だったと委員から報告があったものである。

(委員) もやいの会の会員数はどのくらいなのか。

(事務局) 登録している会員数は120名程であるが、実際に博物館で活動している方は20名程度である。

(委員) 活動を継承していく方策は取っているのか。

(事務局) この点は、博物館にとって大きな命題だと捉えており、何とかボランティアの育成・発掘できるような取り組みを行っている。

3) 第2次浦安市生涯学習推進計画の策定について

①生涯学習に関する市民意識調査の実施結果について

委員からの主な意見・質問等は以下の通り。

(委員) 調査結果から浦安市民の地元への愛着度が高い結果となっており、計画策定時にこの強みをどう捉え、計画に盛り込んでいくかが重要である。また、学習成果の活用に関して、地域貢献への意識が低い結果となっているが、この点、行政が学習した成果を生かせるような施策を講じていかないと、さらにこの結果が悪化してしまうと思う。愛着度が高いという強みと地域貢献への意識が低いという弱みをうまく結びつけて施策の中に盛り込んでいくことが

重要であると思う。

- (委員) 今回の計画が策定だけに終わることがないように、現行計画の評価をしっかりとしたうえで新たな計画を策定することが必要である。また、重点課題が何個も挙がっていることがあるが、ある程度絞らないと実行性が伴わないと思う。
- (委員) 現行計画の評価はどのように行っているのか。
- (事務局) 個別の事業については、社会教員会議や教育委員会議でその都度報告しており、教育施策の中でも評価を行っている。計画全体のフレームについては、今回の市民意識調査の結果をもとに、来年度に各担当課とヒアリングを行いながら、評価をしていく。
- (委員) 児童の浦安への愛着度が高いという結果について、郷土博物館で全児童が海苔すき体験をするという取り組みなど、地域を知る機会が愛着度に繋がっているのではないかと思うので、今後も継続して欲しい。

(2) 協議事項

1) 研究テーマについて

前回会議で各委員から意見を出してもらったことを受け、委員長が「①浦安っ子を支える地域の力」、「②シルバー（シニア）世代の学びと社会参加について」、「③浦安市の文化・芸術の振興について」の3つのテーマにまとめたものを案として提示し、さらにテーマの絞り込みを行った。

委員からの主な意見・質問等は以下の通り。

- (委員) シルバー世代、特に男性は家にひきこもっていることが多い気がするので、そういった方たちが活躍できる場について検討していきたい。
- (委員) 青少年を対象とした社会教育事業の整理する点について、新しく何かを作るというよりも今あるものをより生かしていくという視点で行うと良いと思う。また、幼稚園と小学生や小・中学生のつながりはあるが、乳幼児と中学生の間の取り組みが少ないように思うので、子ども同士が何かできる仕掛けを作れば、保・幼・小・中という繋がりが出来てくるのではないかと思う。
- (委員) まず大きな視点として、5年後、10年後に繋がる視点で物事を考え、身近なところからやっていき、その積み重ねがさらに先に繋がっていくと思う。大きなテーマで大きなところから出発すると、限られた時間の中では中途半端なものになってしまうと思う。また、市民意識調査の結果から、回答者は60,70代の方が多く、設問においては自己の研鑽のために学習をしている方が多い一方で、学んだことを指導したいという方が一定数いることから、シニア世代が子どもたちに学んだことを指導するというような「世代交流」に結びつく結果となっていると思うので、こういった取り組みを5年後、10年後に繋がるような視点で検討していく方向性が良いのではないかと思う。

(委員長) 皆さんの意見から、「①浦安っ子を支える地域の力」を柱に「②シルバー（シニア）世代の学びと社会参加について」と「③浦安市の文化・芸術の振興について」の内容を入れながら検討していきたいと思う。次回の会議で、研究の方向性を示していきたい。

(3) その他

次回の会議は、平成30年3月20日（火）午後2時から、市役所10階協働会議室で開催予定。

以上